

## 財務省第7入札等監視委員会 平成26年度第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	平成26年9月29日（月） 金沢国税局 1階大会議室	
委員	委員長 西村 茂（金沢大学法学部 教授） 委員 中村 明子（松本洋武法律事務所 弁護士） 委員 舟橋 秀明（金沢大学大学院法務研究科 准教授）	
審議対象期間	平成26年4月1日 ～ 平成26年6月30日	
契約の現状の説明	平成26年4月～6月の契約実績	
抽出委員の選出	委員の互選により舟橋委員を次回抽出委員に選出。	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	2件	契約件名 : 平成26年度金沢・小松地区合同宿舎（設備）各所補修工事 契約相手方 : 株式会社河村風呂 契約金額 : 2,797,200円 契約締結日 : 平成26年4月21日 担当部局 : 北陸財務局  契約件名 : 魚津合同庁舎冷温水発生機オーバーホール工事 契約相手方 : 菱機工業株式会社富山支店 契約金額 : 6,642,000円 契約締結日 : 平成26年6月23日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約（公共工事）	-件	
競争入札（物品役務等）	2件	契約件名 : 平成26年度プリンター用トナーカートリッジ等の購入 契約相手方 : 株式会社グラフィック 契約金額 : 2,352,024円 契約締結日 : 平成26年4月1日 担当部局 : 北陸財務局  契約件名 : 平成26年度金沢国税局別館運送等業務 契約相手方 : 日本通運株式会社金沢支店 契約金額 : 2,027,716円 契約締結日 : 平成26年4月1日 担当部局 : 金沢国税局
随意契約（物品役務等）	-件	
応札（応募）業者数1者関連	1件	競争入札（公共工事）の「魚津合同庁舎冷温水発生機オーバーホール工事」案件に同じ
委員による意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	
その他	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【契約一覧表】</b>  <b>・金沢国税局</b>  「複合機の保守及び消耗品等の供給」の入札において、予定枚数をモノクロ1,909,556枚、カラー292,788枚と一桁台まで表示しているが、予定枚数は一桁まで必要なのか。</p>	<p>前年の使用実績に基づいた使用見込枚数を表記しなければ業者が入札金額を積算できないと考えられたため表記しているが、案件によってはラウンド数字でも問題はないと考える。</p>
<p><b>【案件 1】</b>  「平成26年度金沢・小松地区合同宿舎(設備)各所補修工事」</p> <p>契約相手方 : 株式会社河村風呂  契約金額 : 2,797,200円  契約締結日 : 平成26年4月21日  担当部局 : 北陸財務局</p> <p>一者が応札を辞退した理由は何か。</p> <p>落札者は他の応札者よりも割と低い価格で応札し落札しているが、落札できなかった者との価格差をどのように考えるのか。</p>	<p>応札前に他機関発注の管工事を落札したので、当初本工事に配置することを予定していた技術者を先に落札した他工事に配置することとなり、本工事への人員配置ができなくなったことから辞退したと聞いている。</p> <p>本件業務が落札者のエリア内であること、業務内容が比較的得意な分野であったということから、他の業者と差が出たのではないかと考えている。</p>
<p><b>【案件 2】</b>  「魚津合同庁舎冷温水発生機オーバーホール工事」</p> <p>契約相手方 : 菱機工業株式会社富山支店  契約金額 : 6,642,000円  契約締結日 : 平成26年6月23日  担当部局 : 金沢国税局</p> <p>特になし。</p>	

意見・質問	回答
<p><b>【案件 3】</b> 「平成26年度プリンター用トナーカートリッジ等の購入」</p> <p>契約相手方 : 株式会社グラフィック  契約金額 : 2,352,024円  契約締結日 : 平成26年4月1日  担当部局 : 北陸財務局</p> <p>合同庁舎入居官署のうち3官署で共同調達を行うこととなった経緯を教えてください。</p> <p>実際、どれくらい金額的に節約できたのか。</p> <p>共同調達を合同庁舎単位で実施するというのは、全国的なことなのか。</p> <p>契約書の記名押印は、業者と幹事局1官署ではなく、3官署の連名になっている理由は何か。</p> <p>共同調達により単価が下がったという実績を示し、参加官署を増やすことも大切かと思う反面、参加官署が増えると実際に事務手続きをする官署の事務量が増えることになるので、官署間において不公平とならないよう推進していただきたい。</p>	<p>単価契約による一括調達を推進するという各府省申合せがあり、その中の「合同庁舎単位での単価契約」の事項に基づき、合同庁舎の管理官署である当局から各入居官署にトナーカートリッジ等の調達状況を聞き、共同調達の声かけを行った。その結果、共同調達に合意した官署を取りまとめ、一括発注することとなった。合意に至らなかった官署の理由は、入居官署の上部機関が一括して調達を実施しているなど諸事情によるものである。  なお、本件のほかにPPC用紙、ガソリンの購入、レンタカーなどの共同調達も実施している。</p> <p>契約単価は、下がっている。例えば、一番多く使用するリコー製6100Hの単価は消費税抜きで100円下がっている。H25実績を新単価に置換えると約11万円の減額になる。</p> <p>全国的には、合同庁舎単位のほかに各府省単位での単価契約もある。</p> <p>予算執行の権限が各官署の契約担当官等にあることから、当該者を明らかにし記名押印している。</p> <p>了解した。</p>
<p><b>【案件 4】</b> 「平成26年度金沢国税局別館運送等業務」</p> <p>契約相手方 : 日本通運株式会社金沢支店  契約金額 : 2,027,716円  契約締結日 : 平成26年4月1日  担当部局 : 金沢国税局</p> <p>三者応札の内、一者の入札金額が他の二者と比べて高くなっているが、予定価格の積算資料を見ると、当該高く応札した業者のホームページで公表している段ボール運送の単価は、他の業者と比較しても大差は見受けられない。なぜ当該業者は他者と比べて高い価格で応札したのか。</p> <p>国税庁から送付された印刷物や物品等を各税務署に配送しているとのことだが、個人情報が入ったものはないのか。</p> <p>近年は、紙資料を減らす方向性だが、ペーパーレスへの取組は行っているのか。</p>	<p>当該業者は、平成23年及び24年に当該業務を落札している。当該業者からは、実際に業務を経験した上で配送誤りがないよう慎重に作業する必要がある等から金額が高くなったと聞いている。</p> <p>配送物は、パンフレットや申告書用紙など一般に交付するようなものであり、個人情報が含まれた書類等は含まれていない。</p> <p>税務署窓口に着用しているパンフレット等をなくすことは難しいが、パンフレットや届出書等は国税庁ホームページへ掲載しており、また、e-Taxの普及により紙ベースでの申告書等が減少するなど、積極的にペーパーレスに取り組んでいる。</p>